



事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	消防でしか初動対応できない災害に対し、高度救助資機材の整備・充実を図る必要がある。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	高度救助資機材は高価なものが多いため、事業を継続することで、より効果的な消防活動ができる体制が整えられる。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	近年の都市構造の変化に伴い災害も複雑多様化しており、それらの災害に対応するための高度救助資機材の整備が必要である。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	消防車両の整備と関連させた高度救助資機材整備を実施することで、より効率的な事業の推進が図られる。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析		各種災害が複雑多様化され、刻々と変化して行く中、今後どのような高度救助資機材を整備していくのか研究・調査が必要である。		

## 3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				最新高度救助資機材の整備	最新高度救助資機材の整備	最新高度救助資機材の整備		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	735	660	653	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	735	661	653	0	0
事業費 (A)		0	0	1,470	1,321	1,306	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	96.97				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.40	0.40	0.40	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	3,357	3,357	3,357	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	4,827	4,678	4,663	0	0

## 4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
● 現状の規模で継続    ○ 拡大して継続    ○ 縮小して継続    ○ 廃止    ○ 休止    ○ 終了    ○ 他事業と統合	
<判断理由> 本市は高度救助資機材の整備がまだ十分ではなく、継続的な高度救助資機材の整備が必要である。	
平成21年度取組方針	
原材料の高騰により各種資機材の価格が上昇しており、計画額では予定通りの事業が困難になってきている。今後、導入にあたり資機材の導入コストの精査を行い、コストの削減策等を講じていきたい。	
課長コメント	災害の大規模化や住民ニーズの多様化など、消防を取り巻く環境は大きく変化している。この変化に的確に対応し、住民の生命・財産を守るという消防の責務を果たしていくため、最新高度救助資機材を計画的に整備していく。